

てしお

議会だより

No.172
令和3年2月10日発行
北海道
天塩町議会



第四回定例会

夕映運営維持支援金を追加

一般質問 6名が町の方針を問う

- 石山 飲食店への温かい支援を
- 山本 公共施設の現状と課題は
- 横山 事業承継を積極的に
- 国奥 支出の優先順位を
- 渡辺 農業振興の見直しは
- 遠藤 新年度の行政運営は

追跡調査 その後どうなった？

新地通2丁目通線の整備を



まちのこえ 天塩かわまちづくり協議会

こども園「カルタ大会」

第4回 定例会

12月16日

補正予算ピックアップ

- 夕映運営維持へ支援金を追加
- イベントなどの中止により減額

コロナ禍事業中止など
1240万円減額

補正予算

一般会計

歳入歳出について、1240万円を減額し総額を58億2200万円としました。

歳出

西産士13号支線4号橋補修工事	▲2,087万円
夕映運営維持継続支援金	1,000万円
観光協会補助金など	▲769万円
その他経費	636万円

100%出すと決まったものではないことをあらかじめ申し上げ、必要によっては監査も含め、年度末で経営状況はどうだったのか議会や町民に対し明らかにしたいと考えています。

質疑要旨

支援するなら
入浴料減額を

草刈

町民保養センターの指定管理者への支援は9月に1千万円、さらに今回1千万円とこれからの3か月に対する補助はありえないのではないかと支援するなら町民から高いと言われている入浴料を下げるべきでは。

町長

事務的にみる以外に監査委員の監査で現在の経営状況に対する問題点を指摘いただき、10月まで赤字基調であることが出ています。今回の追加について



▲経営状況に対する監査を実施

副町長

指定管理者と経営関係について話し合いをしていかなければいけないと考えており、その中で指摘のあった入浴料の関係についても触れていきたいと思えます。

行政報告

○新型コロナウイルス感染症予防対策の取組

北海道独自の警戒ステージの引き上げや留萌管内での発症者数の増加から11月12日、18日に感染対策本部会議を開催し、感染対策の徹底を指示してきました。今後も社会情勢の変化を見据えながら、感染症対策事業を推進していきます。

その他

○天塩町職員の給与に関する条例の改正

○特別職の給与に関する条例の改正
○議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

○天塩町の第一次産業の振興状況
酪農業では生乳生産量が昨年より伸び、水産業では水揚量は減少しましたが秋鮭漁で好漁となりました。

天塩町農業協同組合は留萌管内と合併し、令和3年2月1日に新農協「るもい農協」が発足、今後の農業発展に期待するところです。

種別	改正前	改正後
正規職員	4.5 か月	4.45 か月
特別職(町長など)	4.4 か月	4.35 か月
議会議員		

▲人事院勧告による引き下げ

一般質問

石山直継 議員

飲食店へ温かい支援を

町長 個別の給付支援は難しい



休業要請対策は

新型コロナウイルス感染症は国内でも流行し現在も収束のめどが立っていない。

このコロナ不況で営業不振や倒産、廃業など大きな打撃を受けている業種が多々ある。飲食業では国や北海道などから支援策が実施されたが感染症の収束が見えないため先行きが不安などの声が聞こえてくる。

金や融資制度を創設しました。

天塩町では営業の有無にかかわらず収益が減少している状況を踏まえ、事業持続化支援金給付制度を創設、55事業者に対し総額860万円の支援を行いました。

各飲食店で細やかな予防措置を講じても、国や北海道から休業要請が発令された場合はなすすべがないことから次の2点を伺う。

- ① 今後休業要請などの万が一に備え、町ではどのような対策を考えているのか。
- ② 新型コロナウイルス感染症に長期的に向き合うことになった場合の対策は。

町長

① 令和2年4月の緊急事態措置の際は、北海道では休業要請への協力に応じた事業者に事業に応じた支援制度、国では持続化支援給付

現在都市部を中心に感染症が拡大していますが、本町は休業要請の指定区域から外れており、事業者に対する特別な対策は講じられておりません。今後の状況によって関係機関と協議を進め、対策を検討したいです。

② 現在早期にワクチン接種ができるよう準備が進められており、実用化の際は町として確実な接種体制の確保を行います。実用時期が見えるまでは新北海道スタイルの実践の徹底をお願いし、今後の国や北海道の警戒ステージを注視し感染拡大予防に努めます。

いまは、きよりをとって

換気をしよう

3つの「密」をさげよう

▲北海道スタイルの実践例

業種	単価	件数	給付額	
飲食業	スナック等	20万円	7件	140万円
	居酒屋等	15万円	9件	135万円
	食堂等	15万円	7件	105万円
宿泊業	15万円	6件	90万円	
理美容業	15万円	12件	180万円	
食品小売業	15万円	14件	210万円	

▲町独自の支援給付金の実績

独自支援を

町長

① 北海道スタイルの実践の徹底をお願いすると答弁があったが、外出をなるべく控えては飲食業が成り立たない。12月や1月は忘年会や新年会の時期であり、行政や関係機関でも人数を縮小しながらやっていたがどうだろうか。

② 休業要請の指定区域外で特別な対策は講じられていないとの答弁があったが、特に飲食業では大変な時期に来ている。国や北海道に準じて行政を行っていることはわかるが、物には限度があり、時間には限りがある。年明けには町独自の温かい支援があってもいいと考えるが町長の考えは。

① 飲食店の実態が厳しいことは理解しているつもりです。国や北海道では会食について、感染対策を十分に行い4人以下、2時間以内にするなどの基準を示しており、基準の中での会食は認めざるを得ません。

② 給付型の支援については他町村のほとんどが第1次交付金を原資にしてしか対策を打っていないのが現状で、第2次交付金においても産業対策総体に対する支援という話をしており、町が先行して個別の給付型の支援を行うことはかなり難しい状況であると思います。

国の新たな新型コロナウイルスへの対策の中で新しいことができる見込みであれば、感染対策の支援や貸付など違う形で何らかの支えになりたいと考えています。

山本春光 議員

公共施設の現状と課題は

町長 条例改正を含め検討



各施設の対応は

- ① 社会福祉会館における教育委員会移転後の空きスペースの活用への考えは。
- ② 以前図書室機能を空きスペースに移転するとしていたがその後どうなったか。
- ③ 中央町民会館は各種会合や葬儀などに利用されているが、改修工事に伴い周知をすべきと考えるがどうか。
- ④ 先日の総務文教常任委員会にて天塩川歴史資料館の調査をした際、老

朽化による外壁レンガの腐食や目地などの剥がれがあったが対策は。また、時間をかけて天塩町の歴史を知ってもらうため休息する場所を設ける考えは。

町長

- ① 令和2年8月の教育委員会移転後の空きスペースは職員や警備会社が一部を使用しています。今後は条例の改正を行い、町民や団体などが使用できるスペースとする予定です。
- ② 図書室は現状のまま運営します。
- ③ 感染症対策による改修工事のため3月31日まで一時閉館としています。閉館中に会合などの相談を受けた場合は

社会福祉会館の利用を案内するなどの対応をしたいです。

福祉会館の葬儀利用は現在泊まりでの通夜の貸し出しがしにくいので、既存条例との整合や必要に応じた条例改正を含め検討したいです。

④ 通学路に面した建物であることから、児童生徒に危険が及ぶことがないように安全確保に努めます。休息する場所については、ベンチや映像設備などの設置を検討しています。



▲老朽化が著しい歴史資料館

役場庁舎の対応は

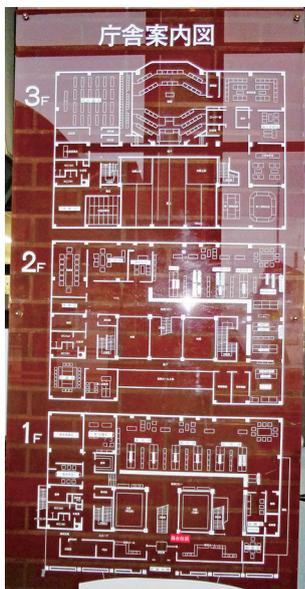
- ① 車いすやお年寄りの方のことを考え、役場の1階と2階に窓口がある課での各種手続のやり取りができる仕組みづくりをするべきではないか。
- ② 庁舎内で何度かこの課に行きたいと尋ねられることがあった。お年寄りや町外の方がわかりやすい案内板表示の仕方や、総合窓口を担当する課を設ける考えは。
- ③ 役場庁舎内の新型コロナウイルス感染症対策は。
- ④ 先日町内で新型コロナウイルス感染症に関する事実と異なるうわさが流れた。今後議会とも情報共有し一丸となって対策することが大切と考えるが町長の考えは。

町長

① 2階の窓口では水道や公営住宅の事務手続きが多く、現在は1階の職員が2階の担当課に連絡し、担当者が1階で対応しています。

② 掲示案内が正面入口にある看板1個で済むのか私も疑問を持っています。ご指摘に沿うよう検討を重ね、財源などの最低限の連絡体制はとれており、万が一のことがあっても十分対応できると自覚しています。

③ 設置可能なサーマルカメラを所有しており、各種会議や検診業務などに使用しています。ここ最近職員の感染やクラスターが発生している事例があることから、保健所の指示がそうならないところでしょうか。保健所の指示がそうないことをご理解賜りたいです。



▲改善が求められる案内板

横山 敦議員

事業承継を積極的に

町長 三位一体の輪で対応したい



事業承継

町の認識は

町内事業者はほとんどが中小企業や個人経営者であり、地域社会を支える存在である。

国の調査では、今後10年間で平均引退年齢である70歳を超える中小経営者のうち、約半数で後継者が決まっていないうという結果が出ており、天塩町でも同じ状況が生じていると考えられる。事業承継がうまく進まず、休廃業が増加すると、町民の生活やまち

一口メモ

一事業承継とは一

現在の経営者が事業や会社を後継者に引き継ぐこと。

経営・事業に必要なあらゆるものを引き継ぐため、準備だけで数年から10年程度を要することがある。

【主に引き継ぐもの】

1. 経営（会社の経営権や従業員）
2. 資産（建物や機器）
3. 知的資産（技術やブランド）

業種別の事業者数

業種	事業者数
卸売・小売業	49
サービス業	43
宿泊・飲食業	32
製造・建設業	26
農林水産業関連	13
その他	26

の活力の衰退、人口減少に直結すると考えることから3点を伺う。

① 町内の事業者数は。

② 事業承継問題への課題認識は。

③ 事業承継の実態や後継者の決まっていないう事業者の状況をどうとらえているか。

町長

① 平成28年で189事業者ですが農業や漁業の個人経営者は含まれていません。

② 少子高齢化で人口減少が進む中、担い手の確保が難しく、町内経済の悪化につながると懸念しています。

③ どのように事業承継するかはそれぞれの経営判断が大きいです。補助制度の情報提供や相談を担う商工会への支援などを引き続き実施していきます。

積極的な関与を

① 先日の天塩高校生への取材でもお店というキーワードを多く聞いた。事業承継が進まない理由として日々の経営で精いっぱい、何かを始めればよいかわからないなどの理由があることから、行政として積極的に関与していく必要があると考えるが町長の考えは。

② 遠別町では新規創業や起業への支援制度がある。天塩町でも町独自の補助制度を設けられないか。

③ ここ数年か月コロナ禍で東京都への人口流入が減り、道内への転入が増えているという新聞記事があった。移住定住を積極的にPRして、都市部からの移住者を事業承継や新規創業に結び付けていくことが有効と考えるがどうか。

町長

① 事業承継の窓口は商工会や金融機関にあるべきと考えています。町としては商工会未加入の事業者に対する事業承継問題への協議や、事業承継への指導についての要請、事業承継後の公営住宅の確保などを行いつつ、三位一体の輪で対応したいです。

② 支援制度の話は現在検討に入っていません。民間での事業承継への体制が確立されていないと議論が進みにくい



▲移住定住の成果がでない施設

と考えており、議論が一定程度見えてきた段階で課題になると理解しています。

③ 12丁目の移住定住促進住宅はコロナ禍にあつて1人が入っていますがなかなか前に進んでいません。前向きに移住定住が進むような形の事業も背景を持ち、その中で起業への議論を進めたいです。

国奥 強議員

支出の優先順位を

町長 庁舎耐震化を優先



総合振興計画の再構築は

総合振興計画は町の政策基礎となる考え方を示しており、他の計画も総合振興計画を基礎に政策実施されている。

6月にコロナ対策を質問した時と比べ新型コロナウイルス感染症は爆発的に増加している。急激で大きな社会変化への早急な対策が必要であると考える、総合振興計画が示す政策や事業について

て4点を伺う。

①基本目標5項目の施策分野の変更は。

②情報化や交通手段の充実、防災対策の今後の発展は。

③基幹産業である農業や漁業の振興策は。

④基本計画の再検証や再構築が必要と考えるが町長の考えは。

町長

①全国的に新型コロナウイルス感染症によりコロナ以前では考えられなかった変化が起きているため北海道の総合計画を注視して毎年の実施計画ローリングに適切に対応したいです。

②情報化では町内全域の光ファイバーの整備を進め、交通手段の充

実では利便性向上のための交通実態課題の調査や交通ニーズのアンケート実施を検討しています。防災対策では臨時交付金を活用しながら被災時の防疫対策を強化しました。

③臨時交付金を活用し加工場を整備するほか公共牧場の整備や消費拡大事業などハード・ソフトの両面から振興を図りたいです。

④収束の見通しが立たない今、国や北海道の動向を見ながら慎重に判断したいです。

第7期天塩町総合振興計画（計画期間：2019年～2028年）

基本目標

施策分野

安心・安全で住みよいまちづくり	環境保全の推進	環境衛生の推進	生活基盤の整備
	防災・防犯・救急体制の充実	シェアリングコミュニティ構想の推進	
活気あふれるまちづくり	産業の振興	商工業の振興	観光の振興
いきいきと暮らせるまちづくり	保健・医療の充実	福祉の推進	子育て支援
先人の偉業に学び未来を切り開くまちづくり	学校教育の充実	生涯学習の推進	文化・芸術の振興
	生涯スポーツの推進		
郷土を愛し、地域が輝くまちづくり	コミュニティ	行財政運営	

優先順位の考えは

①新型コロナウイルス感染症対応のための医療体制に変化は。

②常勤医師や医療スタッフの確保対策と結果は。感染拡大を心配する町民の不安解消も必要であり、感染の増加抑制、早期発見のためPCR検査などの費用を助成する考えは。

③行財政運営の効率化策と事業実施に向けた財源確保策は。

④効率的な行財政運営のため特に支出について必要性を審査し、優先順位を設定することが重要と考えるが町長の考えは。

町長

①発熱外来や感染症対策用品など不測の事態に対応できるよう整備をしています。

②秋口から常勤医の複数の確保と内科にこだわらないことで、民間の

医師紹介業者と契約し、半常勤で来る先生の話も聞いています。求人では社会性や人間性、縦横の関係、スタッフとうまくやっていけるかをメ

インに確保しようとしています。感染の有無を含め対応は保健所の指導により行っており、PCR検査は医師や検査スタッフと協議し対策を考えたいです。

③効率化策として行政などの広域的事業を実施しており、財源確保策は国などの補助制度を最大限活用し、効率的な事業実施に取り組んでいきます。

④優先度としては避難所であり災害時の本部の耐震化が高いと思っています。耐震化を含めた優先順位の議論はこれから議会の皆さんと一緒に前向きに進めていきたいです。

渡辺修勝 議員

農業振興の見直しは

町長 生産者や関係機関と検証



農業振興ビジョンの検証は

① 農業支援センターが設置され5年になる。この間の農業振興ビジョンの検証は。また、検討会は今回開催されているか。

② 農業支援システムは組み合わせをイメージしているが、ひとつとして成立していない。その原因は何か。

③ 農業振興ビジョンで方向を変えなければいけないサクシードファーム（農業研修牧

場）で対応しようとしていた農業実習生や新規参入者の受入、酪農ヘルパーの人材確保について今後の考えは。

町長

① 多くの取組が進行中または事業完了から間もないことから、これまで検討会は開催されておらず、検証等も行われていません。

検証や見直しについては、生産者や関係機関と意見交換をしながら進めたいです。

② 原因は取組を行う生産者がいなかったことですが、ひとつずつの項目ではおおむね活用されています。他方で、組み合わせに対応すると見

検討会の開催時期は

込まれる生産者はいずれも稼働開始から間もない状況のため、様子を見ながら提案していきたいです。

③ 今後の検証と見直しの中で、新規参入を目指すが酪農ヘルパーとして勤務しながらノウハウを身に付け、既存農家の労働負担軽減に寄与するといったモデルが考えられないかを含め、関係機関と協議していきたいです。

① 検討は通常3年、5年というスパンで見直していく。1回目の検討会はいつ開催するのか。

② 実現が難しいと判断したものに代わるものをどう対応するか。

③ 令和3年2月より留萌管内がひとつの農業団体として事業が開始され、運営方針も今までと違う形になる。農業を

指導的な立場で後押しする必要があると考えるかどうか。

④ 酪農家の間では、酪農ヘルパーが派遣してもええ、コントラクターも手が回らないと言われ、規模縮小や離農を考えた方がいいという声が聞かれる。

TMRセンターの設置などは評価すべきだが、既存農家の労働力負担軽減への考えは。

町長

① 検討会の構成機関である農協が合併を控えていることから、検証見直しは本年度中に準備を進め、新農協の体制が具体化してから開催したいです。

② 大型農業生産法人にも相互に役割を担っていただくなどの方法も含め、関係機関と協議していきたいです。

③ 農業振興ビジョンの見直しは行政としての

考え方もあると思います。今までと同様に農業団体と一体となった方向性を考え、新たなビジョンを作り、その道に進む後押しや実現に向けた協議をしたいと思います。

④ TMRセンターなどは1か所できればいいとは思っており、新たに立ち上げたい生産者がいる場合は町が支援したいです。

農業支援システム

(窓口=農業支援センター)



今後の農業振興ビジョンの検証や見直しについては、これ以上複数の離農は増やさない覚悟で会議の中で出ていきたいです。

遠藤 功 議員

新年度の行財政運営は

町長 ボトムアップを大事に



財源の確保は

令和3年度の予算編成作業にあたり、コロナ禍をどう乗り越える行財政運営をするのか5点を伺う。

①国は新型コロナウイルス感染症対策で3度の補正予算を編成、国債発行額は100兆円を超え深刻な財政悪化となった。地方交付税の配分見直しは。

②人口減少に歯止めがかからないが、自主財源である町民税や固定資産税への影響は。

③自主財源確保のため物件費の納入価格を是正する考えは。

④各担当課へ総合的業務・事業の見直し指示をしたか。職員個々の能力集約による発想の導入の考えは。

⑤公約実現のための設計図書素案策定は予算編成で検討するのか。

町長

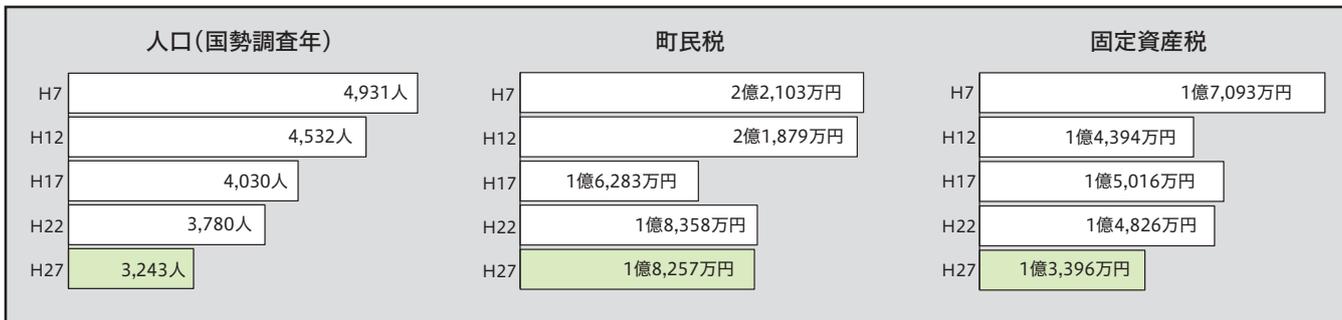
①今年度は国勢調査があり、新年度予算での地方交付税の算定に人口減が盛り込まれます。地方交付税の配分額は政府予算のひっ迫から減少傾向の予想です。

②町民税は徐々に減少しています。固定資産税は近年の住宅の建設などで増加傾向ですが、将来的には家屋の撤去などで減少すると懸念しています。

③市場価格を適切にとらえた予定価格の算定による指名入札や一般競争入札を視野に入れながら経費抑制に努めます。

④今月初旬に各課のヒアリングを行い、既存事業の財源確保の再確認、新規事業では職員の考える新たな発想を取り入れながら新年度への基本方針の確認を行いました。

⑤4月より庁舎内で4回会議を開催し、各課による内部協議を進めています。次の段階として幅広く町内団体から意見を集約したいですが、コロナ禍によりできない状況であるため他の方策を考えながら検討したいです。



職員の能力集約を

①国は財政再建の負担を地方に求めると予想される。町としてさらなる財政健全化のもとで住民の安全確保に努めることが重要と考えるのが町長の考えは。

②物品等の納入において、市場価格より割高な役場価格が慣例であると聞く。情報公開の観点からも納入業者に対しては正を請うべきと考えるがどうか。

③職員の能力集約について、職員個々のさらなる町長への提言が最も重要と考えるが町長の考えは。

町長



▲管理職研修を実施

①財源対策について国や北海道にいろんな形で要請しています。予算編成では各担当課に交付金や国費など財源を揃え、それでも足りないものはどう一般財源や起債を付けるのか十分説明してほしいとお願いしております。

②国や北海道では燃料や備品の購入価格がホームページで公表されています。二重価格は問題であり是正に向けて検討を進めたいです。

③ボトムアップ(職員の意見を反映した意思決定)を大事にということだと思いますが、この2か月で副町長から各課長への聞き取りや研修、若手職員への研修を行いました。若手職員と管理職を通じ三役と連携が取れるシステムを作りたいです。

委員会調査レポート

総務文教常任委員会

10月15日

歴史資料館のリニューアルを



▲まもなく築70年を迎える歴史資料館

〔町〕 歴史資料館は、展示物の説明にQRコードや英文表記への対応を進めています。

社会教育会館は、男能富地区で倒壊の恐れがあるため更岸地区へ史料を移設しました。

〔委〕 歴史資料館は費用に対し入館者数が少ない。外観や展示物の紹介の整備をしてほしい。

社会教育会館(旧小学校)は施設の改善や史料譲渡、売却など今後の利活用を考えて欲しい。

産業厚生常任委員会

10月8日

医師の確保は現場の声を大事に



▲病院北東側に発熱外来を新設

〔町〕 医師の確保は民間の紹介会社と契約、採用条件の緩和などを考えています。

今後の課題として新人や次のリーダーとなる人材の育成があげられます。

〔委〕 紹介会社を活用する際は医療スタッフと話しながら慎重に進めてほしい。

人材育成は人件費や職員定数だけでなく、新人や再任用の重複なども考慮する必要があります。

追跡調査 その後どうなった？

新地通2丁目通線の整備を (てしお議会だより No.170 より)



周辺住民から砂利道であることにより、車両の通行による砂ぼこりの舞い上がりが原因で窓が開けられないなどの支障をきたしていることから道路整備の要望書が提出され、産業厚生常任委員会で現場調査を行いました。



町で砂利道に道路や駐車場の整備に使うアスファルト再生砕石(RC)を敷き、重機で締め固める工事を行い、住民が砂ぼこりを気にせず窓を開けられるようになりました。

表紙の写真



「カルタ大会」 認定こども園おひさま

1月15日に認定こども園おひさまで、毎年恒例のカルタ大会が開かれました。

先生の「まいります」のかけ声に「はい！」と気合のこもった返事を見せた子どもたちは、遠くにある札も身を大きく乗り出し一生懸命手をのばしていました。「たくさん取れたよ」「次はがんばるぞ」と真剣勝負の熱い1日となりました。



まちのこえ

No. 16

今回は 天塩かわまちづくり協議会

のみなさん



天塩かわまちづくり

協議会の活動内容は？

会員は現在38名です。

天塩川をメインとした観光振興策を検討する会として、しじみまつりなどで和船の乗船体験や、天塩町フェスタという昔の遊びや自然、食について子どもからお年寄りまで交流できるイベントを開催しています。

また、町の広報誌で活動内容を紹介し、町へ天塩川歴史資料館への改善の要望もしています。

将来のまちづくり

に望むことは？

資料館や河川公園など町の中でどう観光してもらうかPRをしてほしいです。

団体で活動している人が高齢の方ばかりなので、熱意のある若者が輝ける場を作ってほしいです。

また、天塩高校で頑張ればいい大学にいけるような推薦枠の確保や町独自の奨学金があればいいと思います。

議会や議会だより

どうですか？

議会は昼間が仕事で行けないため、いつでも見られるようにしてほしいです。

議員と気軽に話す機会がないため、もっと住民の声をくみ上げるような機会を設けてほしいです。

議員の熱意は伝わるが実現されていない印象があるので、自分の得意分野でより頑張つてほしいです。

議会だよりは毎月楽しみにしており、よくできている印象です。

この取材の詳しい内容はHPに掲載しています。

天塩町議会

検索

議会を

傍聴

しませんか？

第1回定例会は
3月8日、16日～18日
の予定です。

一般質問は16日に行う予定です。
質問者・内容はホームページや号外に掲載します。



町民相談コーナーを開設しています。
ご相談がある方はお気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。



「LINE」に公式アカウントを開いています。議会の情報を発信していますので、ぜひご登録ください。



動画配信サイト「YouTube」で本会議の録画配信を始めました。QRコードからご覧ください。